

9月6日：VN指数は堅調に推移（VN-Index +0.89%）

- VN指数はわずかに上昇して取引を開始した。1,280ポイントの強い抵抗線に近づいており、投資家は慎重な姿勢を強めていた。
- 午前中の取引の終了にかけて、売り圧力は強まり、指数は下落に転じていった。
- しかし、午後に入るともう一度買いが集まり、指数は上昇に転じた。
- 取引終了間際にかけてさらに買い圧力が高まり、指数は大きく上昇した。不動産、銀行株を中心とした買いが続いており、その他、素材や金融サービスセクターも指数を押し上げていた
- 銘柄別では356銘柄が上昇、145銘柄が下落、70銘柄は変わらずだった。
- 流動性は前営業日比で2.7%増加し、売買代金は25.1兆ドンだった。

VN30指数が相場をけん引（VN30 +1.24%）

- 大型株で構成されるVN30指数は22銘柄が上昇、4銘柄が下落、4銘柄が変わらずだった。
- HPG（+4.3%）とVPB（+3.8%）が大きく上昇し相場をけん引した。
- 一方、1%以上の下落となったのはVIC（-1.1%）の1銘柄のみだった。

個別株・セクターの動き

- 額面25%の配当落ち日が近づいているVSA（+9.79%）は大きく上昇した。
- VNZ（-8.73%）はESOPによる希薄化が嫌気されて売られた。
- 外国人投資家は1,050億ドンを売り越した。大幅高したVPBには外国人の買いが大きく入っていた。一方、HDG、SSIの2銘柄大きく売られていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。